

長寿のお祝いに、新米をお贈りしました



今年から、敬老の日に毎年行われていた市主催の敬老事業が、それぞれのまちづくり協議会に委ねられることになりました。これを受けて、当まちづくり協議会では、春先からいろいろな思案を重ねてまいりましたが、今年は松阪市の農家で作られた新米の「こしひかり」三キロを、八十五歳以上の約二百三十名の方々に贈りました。

九十歳を超えてからも

なお、人気漫画「あんなまんまん」を描き続けられた作家のやなせたかしさんは、「八十歳を過ぎると人生のマニュアルがない。



毎日が新鮮でびっくり仰天。見るごと、やるごと、なすごと、すべてが未知の世界の冒険旅行だから面白い。『人生九十歳から面白い』とも、また、「このくらいの年齢になると、お手本になる人もそうそういない。老境は人生の秘境なのだ。『もういい年なんだから無茶はやめなさい』といった世間の常識に従うことはない。元気を奪い、枷をはめてしまう言葉に唯唯諾諾と従ってしまつてはせっかくの長生きがもったいない。『老人は老人らしくしなくたっていいのだ』『いい年』だからこそ、やりたいことをどんどんやっいていこう」と、高齢者にエールを送りつつうれしました。

フクフク、おもしろく、これからの人生を生きていただきたく、今年のコシヒカリの新米をお贈りしました。

社会見学に行きました

六月三日（火）に三十二人で、伊勢神宮の外宮・内宮へ参拝しました。



入梅前にもかかわらず、前日まで三十度を越える記録的な暑さが続いていたましたが、当日は終日曇り空で、暑さが和らぎ、絶好の日よりとなりました。

前年の式年遷宮の余韻がまだ続いているのか、伊勢神宮は大勢の人で賑わっていました。

外宮では新しくできたせんぐう会館を見学し、昼食はお祓い町で「こね寿司」に舌鼓をうち、おかげ横丁を散策するなど、楽しい初夏の一日を過ごしました。

街中ハイキングを楽しみました

六月八日（日）、ふれあい街中ハイキングには、四十三人の参加者が集い、初夏の爽やかな陽射しの中、ゆるやかな時間を過ごしました。

午前十時前に第二公民館を出発、只今開発中の旧興和紡績跡地をぐるりと一周し、挽木町にある第三代松阪城主古田重勝の墓前にて、愛宕山龍泉寺の岡本住職から墓苑のいわれなど来歴の説明をお聞きしました。そのあと、愛宕町、来迎寺（白粉町）、大黒田町を経て、春日町の集会所まで、全行程一時間半ほどのハイキングを楽しみました。

春日町集会所では、焼きそばやおにぎり、焼き肉などの昼食に舌鼓をうち、じゃんけんゲームやC・Cリングゲームなど、いつしかゲームに夢中になってあつという間にひと時を過ごしました。



開発中の旧興和紡績跡地をぐるりと一周



C・Cリングゲーム

水難事故防止教室を開催しました

今年の夏の初めに、水難事故が相次いで報じられる中、第二小の五年生、六年生四十六人の児童を対象に、七月十五日（火）地区福祉会主催の水難事故防止教室を開催しました。

水難救助チーム・消防指令の方を講師に招き、水難事故についてのいろいろな話の後、水難救助のための資機材を積んだ水難救助車を見学し、温水の出るシャワーやボートの船外機



ワーカーなどの解説を受けました。

子どもたちは興味深々で、次々と質問をなげかけ、水難事故に対する理解をふかめていました。

この催しは、同小児童と交流を深めようと、毎年、地区福祉会が、「昔の暮らし」「昔の遊び」などの児童福祉教育に取り組む中の一つで、初めての試みです。

この催しは、同小児童と交流を深めようと、毎年、地区福祉会が、「昔の暮らし」「昔の遊び」などの児童福祉教育に取り組む中の一つで、初めての試みです。



福祉施設視察研修を行いました

七月十日（木）、恒例の高齢者福祉施設の視察研修を行いました。今年は津市戸木町にある社会福祉法人「正寿会」の各施設見学に、二十九人が参加しました。

「正寿会」は、平成十四年に身体障害者施設「風早の郷」を、平成十五年には障害者支援施設「カザハヤ園」と高齢者施設ケアハウス「かざはや苑」を、そして平成十九年には特別養護老人ホーム「ライフかざはや」を開設する総合福祉施設です。

それぞれ何らかの障がいをもつ人々が、段ボールの組み立て作業などに取り組んでいる姿や、やはり軽度の障がいを



持つ高齢者が、健康のため施設内の回廊をウォーキングする光景が印象的でした。

福祉施設の視察を終えて、午後津市の井村屋製菓を訪れ、あずきバーなどの同社のおもな菓子類が製造される過程を興味深く見学させていただきました。



防犯・防災部会からのお知らせ

昨年の地域を挙げての自主避難訓練について、今年は避難所の運用についての図上訓練を行います。

この訓練を通称HUG^{ハグ}(避難所運営ゲーム)といいます。

六人を一組として、高齢者、障がいを持つている人、小さい子供のいる家族、病気の人、旅先での避難者など、個々の事情を考慮して、避難エリアの割り振りや運営方法を考えるという訓練です。

有意義な、活気に満ちた訓練を期してまいります。

- 日時 十月三十日(木)午後一時
- 場所 第二公民館二階会議室
- 参加者 防犯・防災部会委員
各自治会 三名程度



他協議会の訓練風景

クラブ紹介

パソコン仲間

パソコン仲間はこちら十四・五年少年数ながら楽しく充実した勉強をしています。

初代伊藤晴之先生に基礎を教えて戴き、二代目の中西康夫先生には、その時々の方員の要望にそった指導をしていただいています。



昨年は第二校区避難所の防災地図を作りました。本年は空襲防犯ポスターを作りました。また秋の文化祭にむけて愛宕町松阪大火前後の地図並びに昔と今の移り変りを作っております。

発行

第二地区まちづくり協議会
(第二公民館内)

総務・広報部会(23)6107